気象災害対策　No.８

平成 31 年４月 24 日

寒害対策について

農業総合センター
専門技術指導員室

Ⅰ　野　菜

１　露地栽培等における発芽期又は定植後の幼苗期には，不織布などの被覆資材のべたがけやマルチング等により地温を上昇させる。また，生育初期に窒素質肥料の多施用を避ける等，適切な生育管理に努める。

２　育苗に当たっては，外気温が低い時期には施設内が多湿となり，病害発生に好適な環境となり得るため，低温障害を受けないよう留意しながら，十分な換気を行う。また，病害が発生した場合には，速やかに防除を実施する。

Ⅱ　果　樹

１　寒害の恐れがある場合，寒冷紗や不織布等で被覆し，樹体が直接寒風にさらされることや樹体の凍結を防ぐ。特に，苗木，幼木や改植後間もない若木は寒さに弱いため，コモや不織布等で樹体を保護する等の防寒対策に努める。

２　防風垣や防風網を設置している場合は，裾の部分の巻き上げ等を行い，冷気の停滞を防止する。また，敷わら栽培では，地表面での熱移動が妨げられるため，敷わらの全面被覆を避ける。

Ⅲ　花　き

１　露地栽培等における発芽期又は定植後の幼苗期には，不織布などの被覆資材のべたがけやマルチング等により地温を上昇させる。また，生育初期に窒素質肥料の多施用を避ける等，適切な生育管理に努める。

２　育苗に当たっては，外気温が低い時期には施設内が多湿となり，病害発生に好適な環境となり得るため，低温障害を受けないよう留意しながら，十分な換気を行う。また，病害が発生した場合には，速やかに防除を実施する。

Ⅳ　畜　産

１　特に，幼畜・幼雛については，消化器病や呼吸器病の予防のため，適切な防風・保温に努めるとともに，適切な換気にも配慮する。また，幼畜の保温のため機器については，ガスホース，配線及び吊り下げ金具を含め，使用前に異常の有無を点検する等により，畜舎の火災の発生防止に努める。

２　畜舎内やパドックが凍結した場合は，砂や融雪促進剤等の散布を行い，転倒等の予防に努める。また，乳用牛及び肉用牛においては，飲水後の体温低下の抑制及び水槽周り凍結による転倒防止が重要であり，飲水の加温や飲水器周辺への滑り止めマットの設置等の対策を講ずるように努める。